

GS グローバル・ビッグデータ投資戦略

Aコース(為替ヘッジあり) / Bコース(為替ヘッジなし)

追加型投信 / 内外 / 株式

モーニングスター
アナリストレポート



革新的な投資戦略を支えるポイント

24時間、有効な
ビッグデータを収集・管理

AIを活用した
高い分析力

<当ファンドの計量モデルにおけるビッグデータやAI(人工知能)の活用について>

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの計量モデルでは、投資対象銘柄について、数多くの多面的な評価基準に基づいて評価し、組入銘柄を決定しています。これらの評価基準の開発において、財務諸表などの伝統的なデータに加え、ニュース記事やウェブ・アクセス量などの非伝統的ないわゆるビッグデータも活用されます。ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントではこれらのビッグデータの活用を競争力の源泉とみなしており、近年その利用割合を増やしているだけでなく、そのデータの種類や利用方法も進化しています。機械学習や自然言語処理などのAI(人工知能)技術は、一部の評価基準においてデータ分析プロセスで活用され、特にアナリスト・レポートやニュース記事等のテキストデータを読み込む評価基準において活用されます。最終的な評価基準の選定および組入銘柄の決定は、計量投資戦略グループのシニア・ポートフォリオ・マネジャーが監督しています。

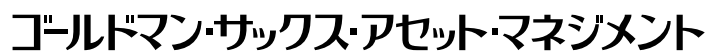
■本資料はゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」といいます。)が作成した販売用資料です。投資信託の取得の申込みにあたっては、販売会社より「投資信託説明書(交付目論見書)」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは値動きのある有価証券等(外国証券には為替リスクもあります。)に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、当社がその正確性・完全性を保証するものではありません。■本資料の中間は、モーニングスター社が当社との契約に基づき、当社のために作成したレポートです。■本資料に掲載するモーニングスターによる評価は、過去の一定情報を分析した結果得られたものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元金および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うことになります。

■投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

■設定・運用は



商号等 株式会社新生銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会



商号等 ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第325号
加入協会 日本証券業協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

投資対象ファンドは平均を上回るリターン、34カ月連続★★★★★

2月24日設定の当ファンド「GS グローバル・ビッグデータ投資戦略」はグローバル株式を投資対象とする国内公募投信としては新しいビッグデータ・AI(人工知能)を運用の一部に活用するファンドである。当ファンドの投資対象ファンドは2004年10月に設定され、運用実績は約13年と長期で運用されている。設定来の累積リターン(ドルベース)は174%と、欧州モーニングスターカテゴリー「グローバル大型ブレンド株式」の平均を64%上回っている(図1)。

図1：投資対象ファンドの累積リターン



好調なパフォーマンスを支える要因

【要因①】2008年よりビッグデータ・AIを活用、パフォーマンスは大幅改善

評価モデルにおけるビッグデータ・AIの活用開始は2008年と、運用業界では早期に採用。2011年計量投資戦略グループにおけるCIO(最高投資責任者)交代を期に評価モデルにおけるビッグデータ・AIの活用割合を増加させ、現在も評価モデルの改善を継続的に行っている。投資対象ファンドの暦年のトータルリターンを見ると、2016年まで過去12年間のうちカテゴリー平均に対して9勝3敗と大きく勝ち越しており、ビッグデータ・AIの活用開始以降、直近7年間は負けなしとなっている。

【要因②】高度なIT専門家と資産運用ノウハウの両輪に支えられた運用・調査体制

投資対象ファンドを運用するゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの「計量投資戦略グループ」はポートフォリオ・マネージャーやストラテジストに加えて、ビッグデータ・AIを活用した運用に欠かせないシステム構築などを行うデータ・サイエンティストなど約180名で構成される充実した陣容となっており、運用資産残高約11兆円を誇る(2017年3月末時点)。

当資料のデータについて

投資対象ファンドとは、当ファンドの投資対象ファンドであるルクセンブルク籍外国投資証券「ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. -ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ」をさす。実際に投資するシェアクラスはレーティング付与の対象ではないため、ここでは同ファンドの別のシェアクラスのパフォーマンス・データ(信託報酬1.25%控除後)を使用。
カテゴリー平均は欧州モーニングスターカテゴリー「グローバル大型ブレンド株式」に属するファンドの平均。投資対象ファンドのカテゴリーは、モーニングスターが組入銘柄のPER、配当利回り等の指標によるポートフォリオ分析に基づき分類。図1は、分配金再投資ベースで、投資対象ファンドの設定日2004年10月14日の基準価額を10,000として指数化(期間:2017年7月末まで)。図2、図3、図4、図5は2017年7月末時点。図2のシャープレシオはモーニングスター独自の計算式により算出。

34カ月連続
★★★★★

投資対象ファンドのモーニングスターレーティング^(※1)は2017年7月末までの51カ月で4ツ星以上を継続、直近34カ月は5ツ星となっている。

※1.リスクを考慮したリターンがカテゴリー内でどのランクに入るかを1ツ星から5ツ星の5段階のレーティングとして付与している。

リターンは3年、5年、
10年で上位10%以内

トータルリターンは過去3年間、5年間、10年間の全期間でカテゴリー平均を上回り、カテゴリー内で上位10%以内に入るパフォーマンスである。特に2011年以降ビッグデータ・AIの活用を増やしてからは、さらに改善し3年間、5年間においては上位3%以内に入っている(図2、図3)。

シャープレシオも
中長期で平均を上回る

シャープレシオ^(※2)も過去3年間、5年間、10年間の全期間でカテゴリー平均を上回り、カテゴリー内で上位5%以内に入る(図2)。

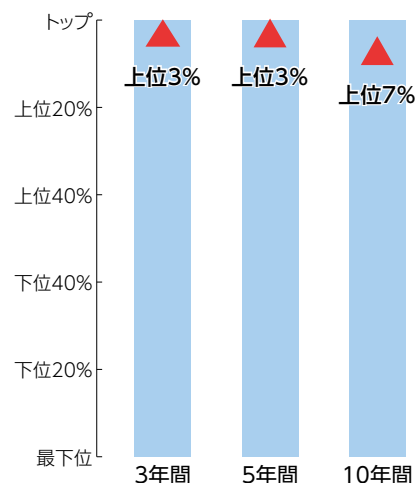
※2.運用の効率性を示す指標で、ある一定のリスクを取って運用した結果から得られるリターンを数値化したもの。数値が大きいほどリスクを抑えながら高いリターンを獲得していることを示す。

図2：投資対象ファンドのトータルリターン、リスク、シャープレシオ

	トータルリターン(年率・%)				リスク(年率・%)			
	ドルベース		円ベース		ドルベース		円ベース	
	3年間	5年間	3年間	5年間	3年間	5年間	3年間	5年間
投資対象ファンド	9.92	15.02	12.59	23.28	10.64	10.52	17.12	16.23
カテゴリー平均	4.31	9.22	6.84	17.07	11.04	10.25	16.06	15.24
カテゴリー平均差	5.62	5.79	5.75	6.21	-0.41	0.27	1.05	0.99

	シャープレシオ			
	ドルベース		円ベース	
	3年間	5年間	3年間	5年間
投資対象ファンド	0.92	1.37	0.94	1.40
カテゴリー平均	0.41	0.90	0.42	0.91
カテゴリー平均差	0.51	0.48	0.53	0.48

図3:リターンカテゴリー比較



ビッグデータ・AIなど活用した独自の評価モデルによる銘柄選定

投資対象ファンドは銘柄選定にビッグデータ・AIなどを一部活用した独自の評価モデルを用い、特徴あるポートフォリオを構築している。組入上位10銘柄(2017年7月末時点)を見ると、7銘柄は参考指標(MSCI ワールド・インデックス)の組入上位10銘柄にない銘柄であり、顔ぶれは大きく異なる(図4、図5)。また、組入上位10銘柄は参考指標が1銘柄を除き全て米国の企業であるのに対して投資対象ファンドは米国以外も3銘柄組み入れる。ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自の評価モデルにより、幅広い国・地域から有望銘柄を選定している。

図4: 投資対象ファンド組入上位10銘柄

銘柄名	国	構成比(%)
アップル	米国	1.70
サンタンデール銀行	スペイン	1.48
ポーイング	米国	1.15
DNB ASA	ノルウェー	1.04
アムジェン	米国	1.03
アマゾン・ドットコム	米国	1.01
バイエル	ドイツ	1.00
セルジーン	米国	0.97
シーブイエス・ヘルス	米国	0.90
フェイスブック	米国	0.88

図5: 参考指標組入上位10銘柄

銘柄名	国	構成比(%)
アップル	米国	2.07
マイクロソフト	米国	1.42
アマゾン・ドットコム	米国	1.06
フェイスブック	米国	1.06
ジョンソン・エンド・ジョンソン	米国	0.96
エクソン・モービル	米国	0.88
ジェイピー・モルガン・チェース	米国	0.87
アルファベット クラスC	米国	0.77
アルファベット クラスA	米国	0.75
ネスレ	スイス	0.70

ファンドのリスクについて

投資信託は預貯金と異なります。本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額が変動します。また為替の変動により損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。信託財産に生じた損益はすべてご投資家の皆さまに帰属します。本ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株式投資リスク（価格変動リスク・信用リスク）」、「株式の流動性リスク」、「為替変動リスク」などがあります。くわしくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

お申込みメモ

購入単位	販売会社によって異なります。
購入価額	購入申込日の翌営業日の基準価額
購入代金	販売会社が指定する日までにお支払いください。
換金価額	換金申込日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として換金申込日から起算して6営業日目から、お申込みの販売会社を通じてお支払いいたします。
購入・換金申込不可日	英国証券取引所、ニューヨーク証券取引所もしくはルクセンブルク証券取引所の休業日またはロンドン、ニューヨークもしくはルクセンブルクの銀行の休業日および12月24日(以下「ファンド休業日」といいます。)
申込締切時間	「ファンドの休業日」を除く毎営業日の原則として午後3時まで
信託期間	約10年【2027年6月25日まで(設定日：2017年2月24日)】 ※委託会社は、信託期間の延長が受益者に有利であると認めた場合は、信託期間を延長することができます。
繰上償還	各ファンドそれぞれについて純資産総額が30億円を下回ることとなった場合等には繰上償還となる場合があります。
決算日	毎年6月25日(ただし、休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年1回(6月)の決算時に原則として収益の分配を行います。販売会社によっては分配金の再投資が可能です。
スイッチング	販売会社によっては、各ファンド間でスイッチングが可能です。 ※スイッチングの際には換金時と同様に換金されるファンドに対して税金をご負担いただきます。 くわしくは販売会社までお問い合わせください。
課税関係 (個人の場合)	課税上は株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は少額投資非課税制度(NISA)の適用対象です。 配当控除の適用はありません。

ファンドの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込日の翌営業日の基準価額に 3.24% (税抜3%) を上限として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。 (くわしくは販売会社にお問い合わせいただくか、購入時手数料を記載した書面等をご覧ください。)
換金時	信託財産留保額	なし
購入時手数料は、商品および投資環境に関する情報提供等、ならびに購入に関する事務手続きの対価として販売会社が得る手数料です。		

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 (信託報酬)	純資産総額に対して 年率1.323% (税抜1.225%)
	信託事務の 諸費用	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、印刷費用など信託事務の諸費用が信託財産の純資産総額の年率0.1%相当額を上限として定率で日々計上され、毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のときに信託財産中から支払われるほか、組入れ投資信託証券の信託事務の諸費用が各投資信託証券より支払われます。
随時	その他の費用・ 手数料	有価証券売買時の売買委託手数料や資産を外国で保管する場合の費用等 上記その他の費用・手数料(組入れ投資信託証券において発生したものを含みます。)はファンドより実費として間接的にご負担いただきますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※上記の手数料等の合計額については、ご投資家の皆さまがファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。お申込みの詳細については、販売会社にお問い合わせください。